

体育会学生の就職活動状況調査（2021年2月）

2021年2月

3月の情報解禁を目前に学生たちの就職活動における動きが活発化してきました。緊急事態宣言を受け、就職活動にも大きな影響があり例年とは違った集計結果も多数ありました。今回は2月時点での「アスプラ2022」利用学生へ3度目のアンケート調査を実施しています。

【調査概要】

調査対象：『アスプラ2022』に登録している体育会学生

回答件数：437件

調査方法：インターネット

調査期間：2021年2月6日~2月11日

【TOPICS】

▼エントリー数について

エントリー数が【0社】の学生は2019年同月のデータと比較し、18.7ポイント減少している。学生の就職活動早期化や新型コロナウイルスの影響による採用縮小に対する不安が現れていることが予測される。

▼企業選びの軸について

企業選びの軸について増加傾向にあったのは、『社会貢献度が高い/世の中の役に立つ【社会貢献】』という項目である。新型コロナウイルスの影響で世の中が苦境に立たされる中、学生自身も何か役に立ちたいと考える機会が増えたからではないだろうか。

<本資料について>

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。

資料のご利用やご質問等に関しては、下記までご連絡ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アスリートプランニング 広報担当

Tel: 03-5937-8460（受付時間：9:00~18:00/土日祝日を除く）

Mail: athlete2022@asupura.com

◆就職活動の状況について

○就職活動を始めた時期

図1から、体育会学生が就職活動をスタートする時期に大きな偏りはないことが分かる。最も多い【11月】に就職活動をスタートする学生はアスプラの会員登録促進の時期と合同企業説明会が始まる時期に合わせて増加する傾向にある。

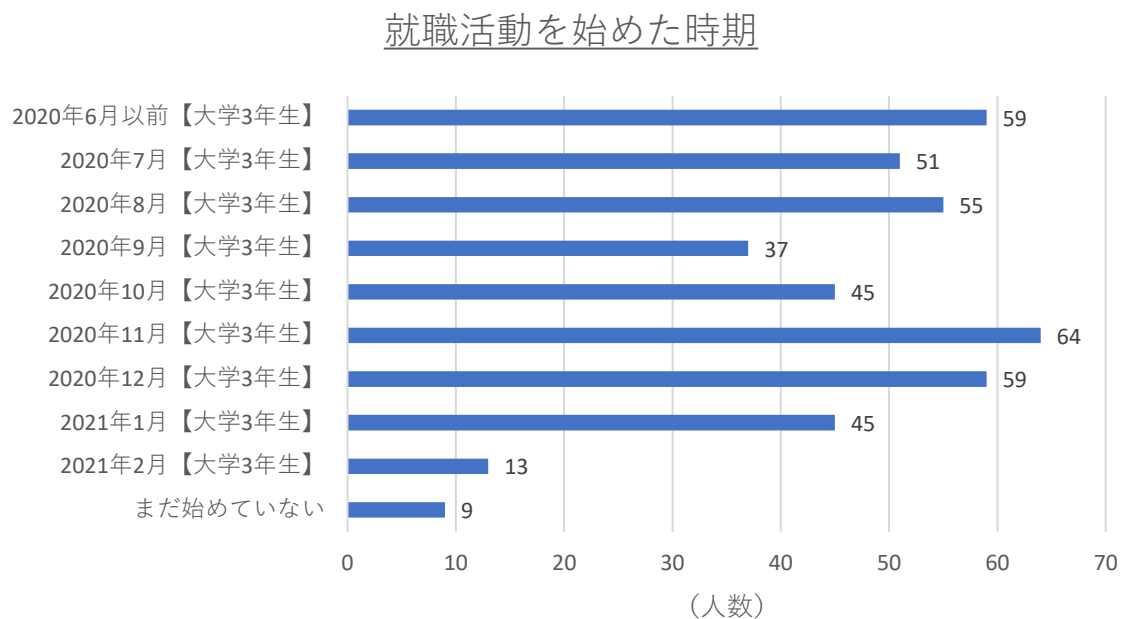


図1

○登録している就活サービスについて

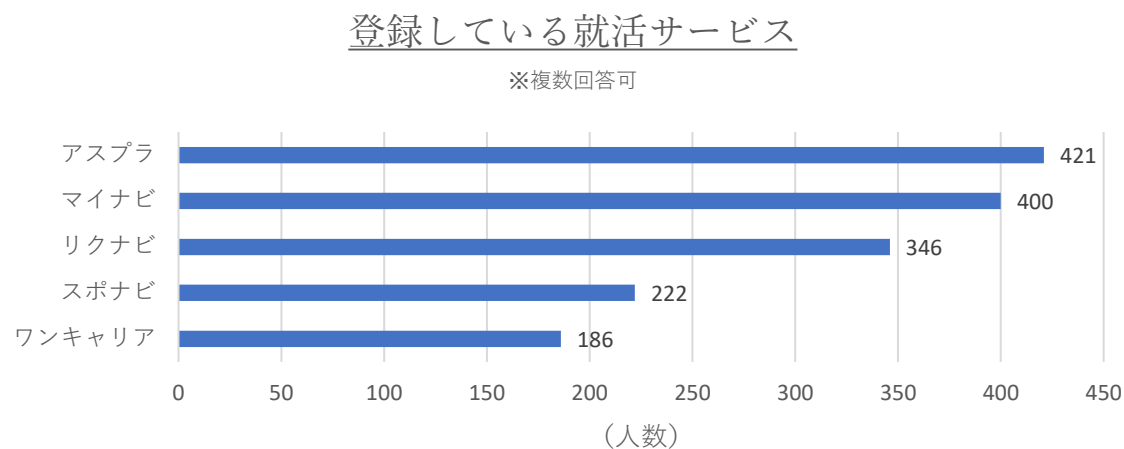


図2

昨今、就職活動を支援する就活サービスが多数ある中で、学生たちはどのような基準で選択しているか図3から読み取れる。情報社会の中でいかに多くの情報を得られるかが重要となっていることが分かる。その半面、多くの情報の取捨選択、正しい情報の取得などが、就活生の課題になるだろう。

また、新型コロナウイルスの影響で友達や同期と会える機会は減っているにも関わらず、図4から見てわかるように【友達・同期】の数値が最も高くなった。

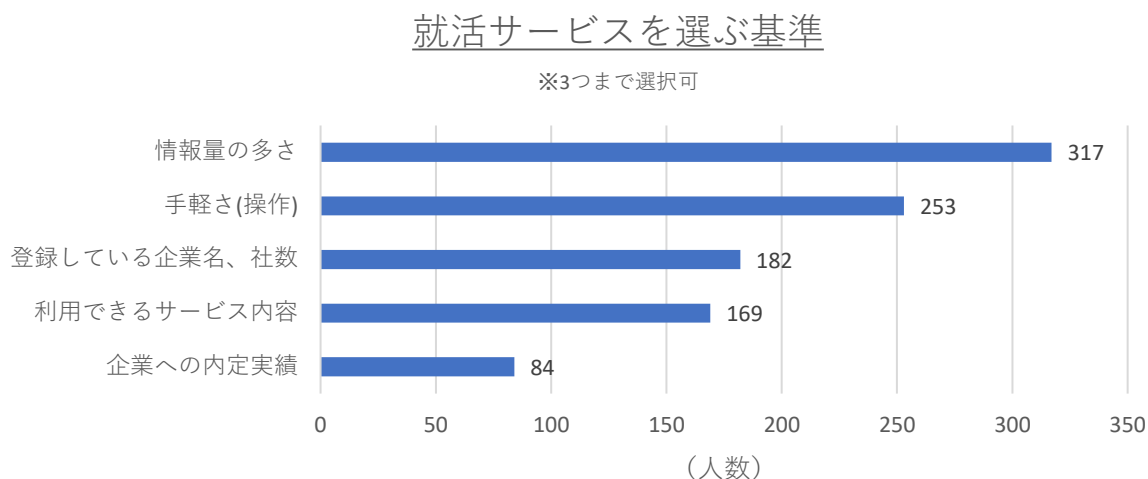


図3

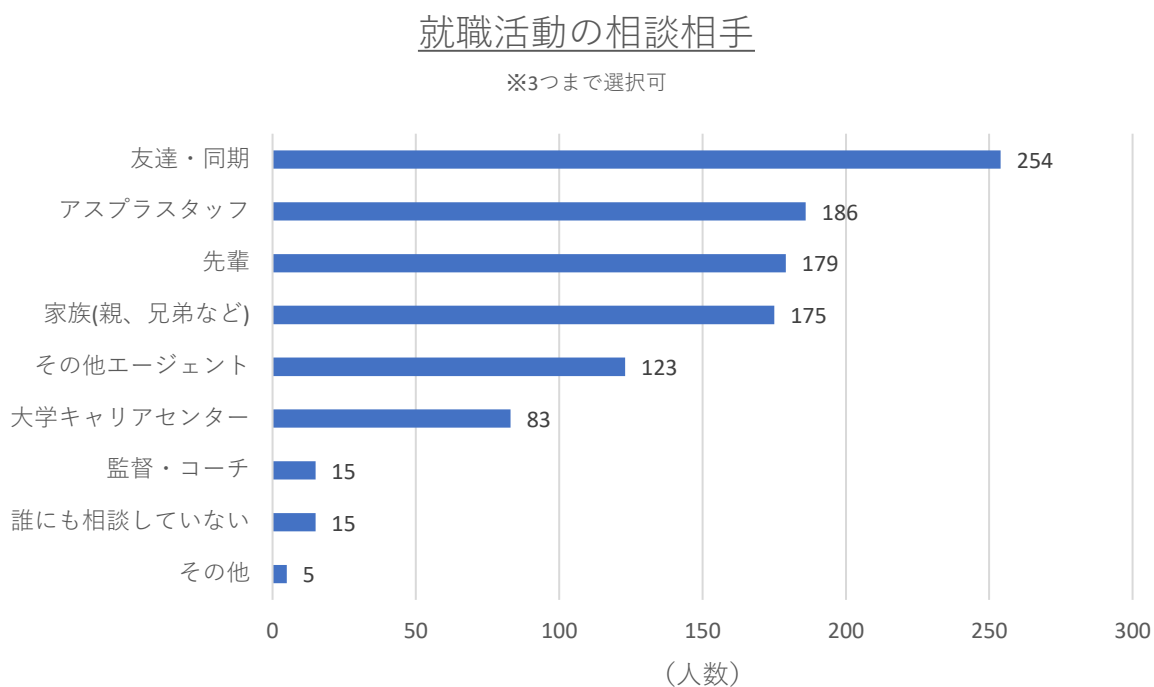


図4

○アスプラに登録した経緯について

体育会学生がアスプラに登録する時期は毎年3年生の9~11月頃がピークとされている。毎年、登録学生はアスプラを利用していた4年生から勧められて登録する場合や、同部活の同期が利用していて紹介をされる場合など人を介して知ることが多くなっている。

アスプラに登録した経緯

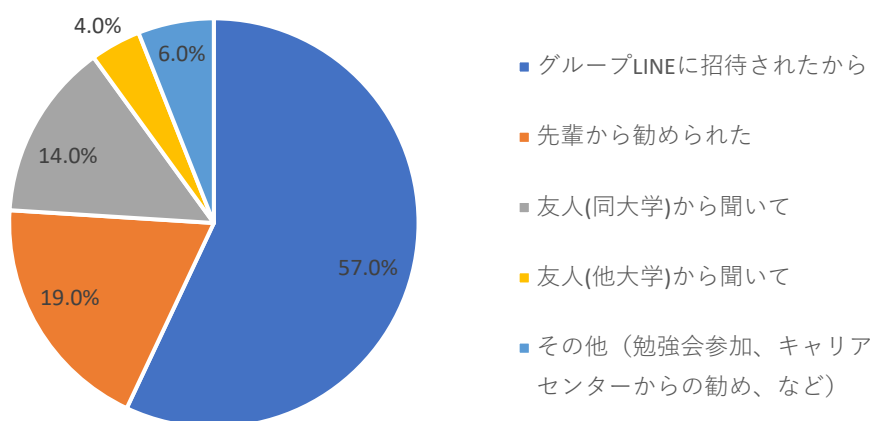


図5

アスプラに登録して良かった点

※3つまで選択可

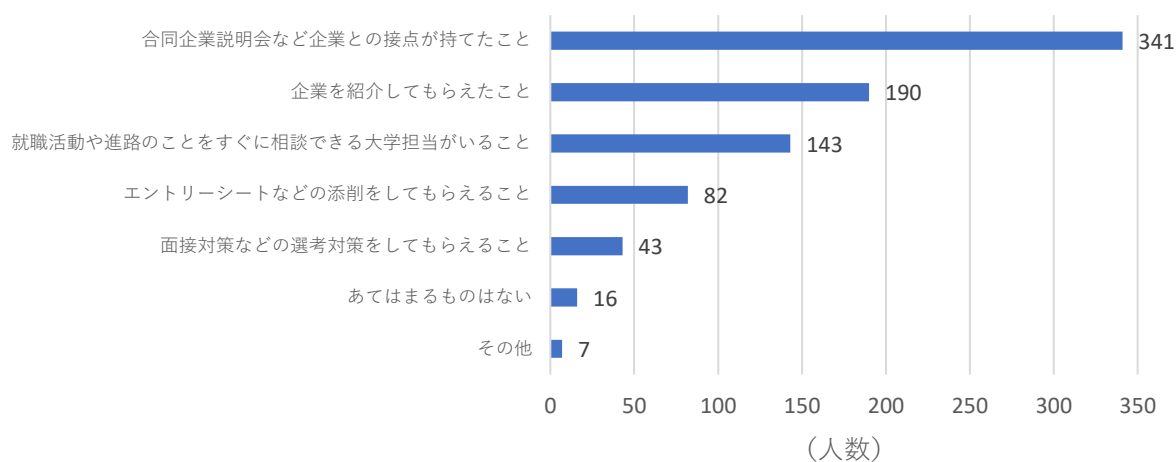


図6

○インターンシップ参加社数について

2021/2のデータはオンラインと対面を比較すると、オンラインでの参加の方が28.8ポイント多い。また前回の2020年12月と比較(図7)するとインターンシップの参加の伸び率はオンラインの方が高い。

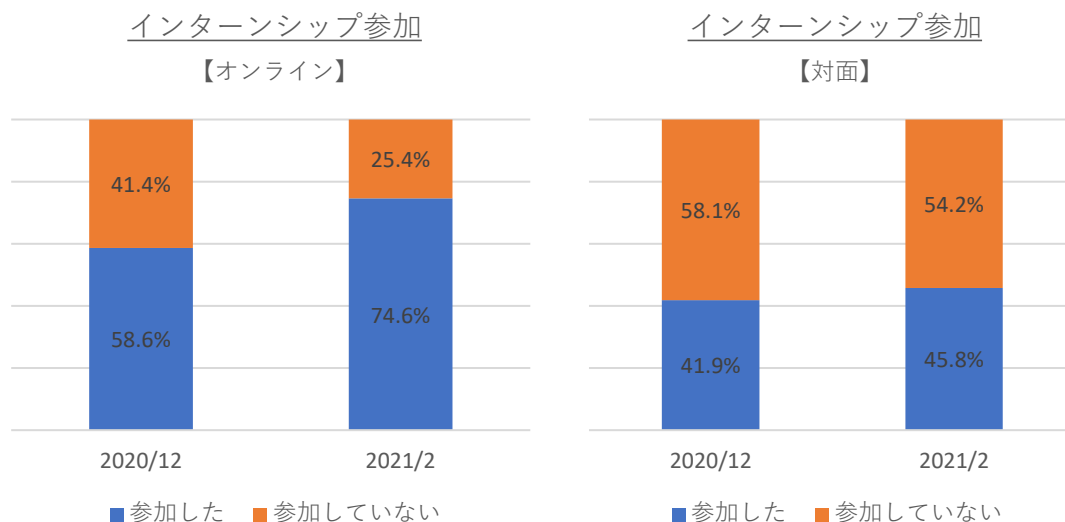


図7

図8からは、【インターンシップの内容に興味を持てたから】という理由が2番目に多く、参加することだけでなくどのようなことを得られるかを検討して参加していることが伺える。

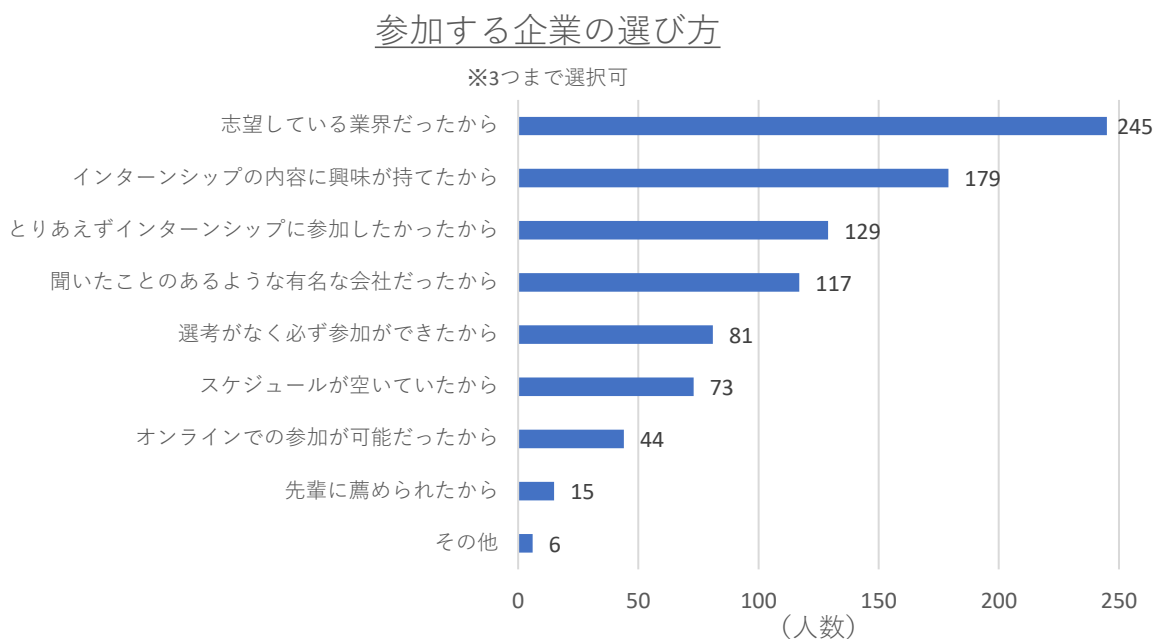


図8

インターンシップに参加することについては体育会学生にも浸透してきており、それを機に企業の選考に進むことで企業理解が高い状態で選考に進むことができるというメリットもある。図 9 でもわかる通り、参加したインターンシップからそのまま本選考に進んでいる割合は 56.3%と半数を超えている。

インターンシップから本選考に進んだ企業

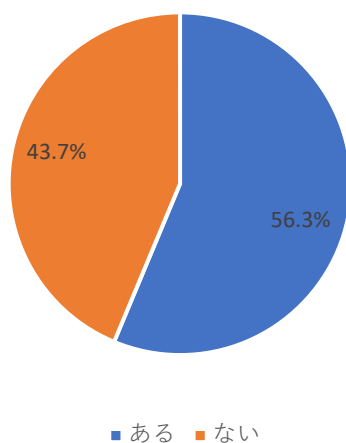


図 9

○OBOG 訪問について

就職活動の相談をする相手の中で3番目に多かった【先輩】(図4参照)にも該当してくるが、OBOG 訪問という括りになると数値としては20.4%と多くはない。新型コロナウイルスの感染拡大を防止の観点からも人(OBOG)との接点を取りづらくなっていることも要因の一つとして考えられる。

OBOG訪問

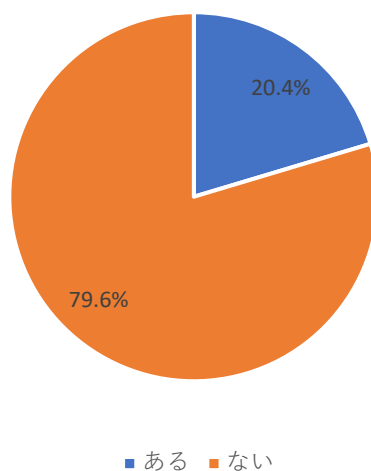


図 10

○合同企業説明会の参加数について

合同説明会の形式についてはオンライン・対面どちらも利用している学生が多いことが分かる。その中でもオンラインの方が14.9ポイント多い。

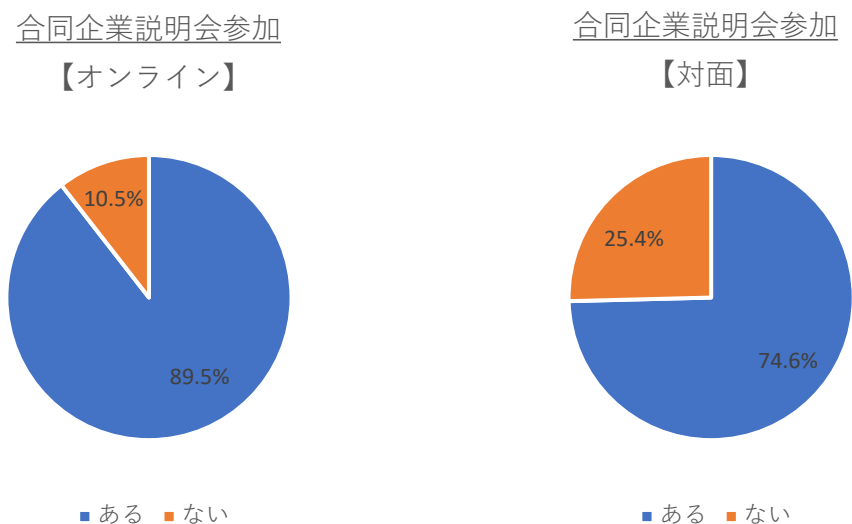


図 11

合同企業説明会の種類

※複数回答可

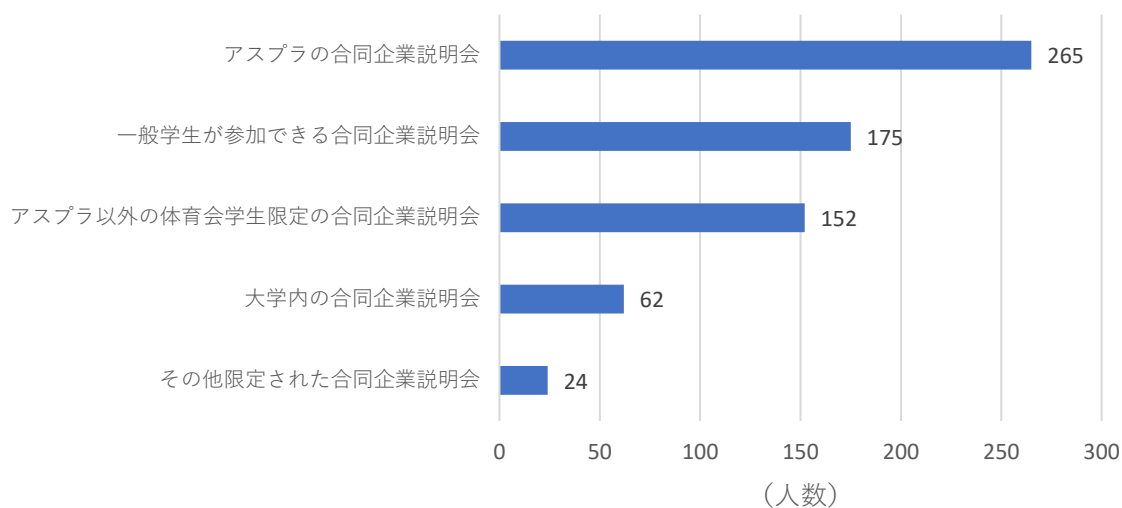


図 12

図 13、「ブースに着席しようと思う基準」の 2 番目に多い【選考特典が付いていたから】については、アスプラの合同企業説明会の特徴を理解した上で有効活用できている学生が多いと想定される。なぜなら体育会学生は、就職活動に割ける時間が一般学生よりも少ないため、効率よく進めたいと思う傾向がより強い傾向にあるからだ。

また、3 番目に多い【社員に声を掛けられたから】という理由については、体育会出身の社員がイベントに参加して積極的に学生に声を掛けるという、各企業なりの工夫が奏功していると考えられる。

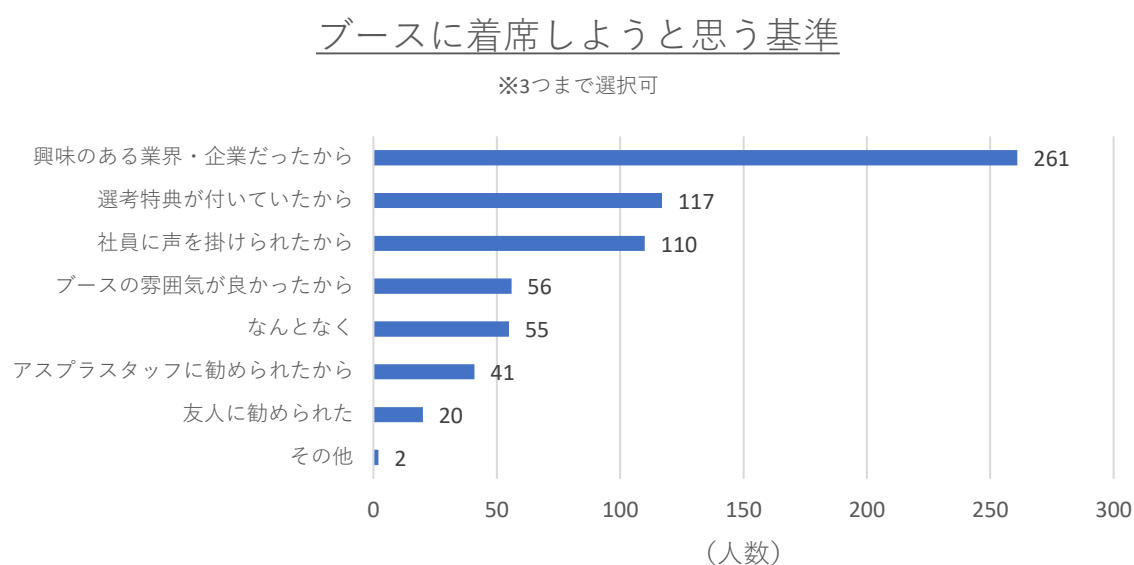


図 13

今後の合同企業説明会について

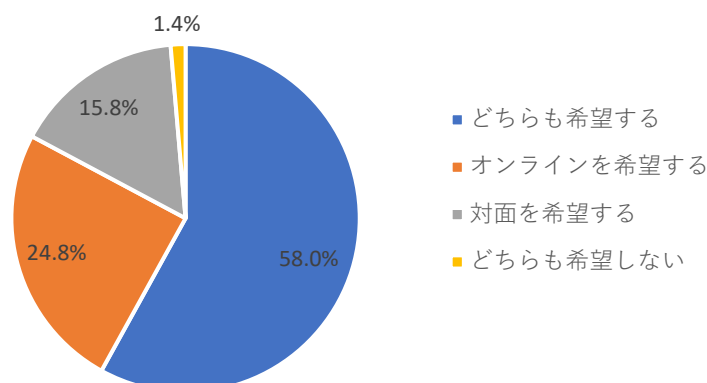
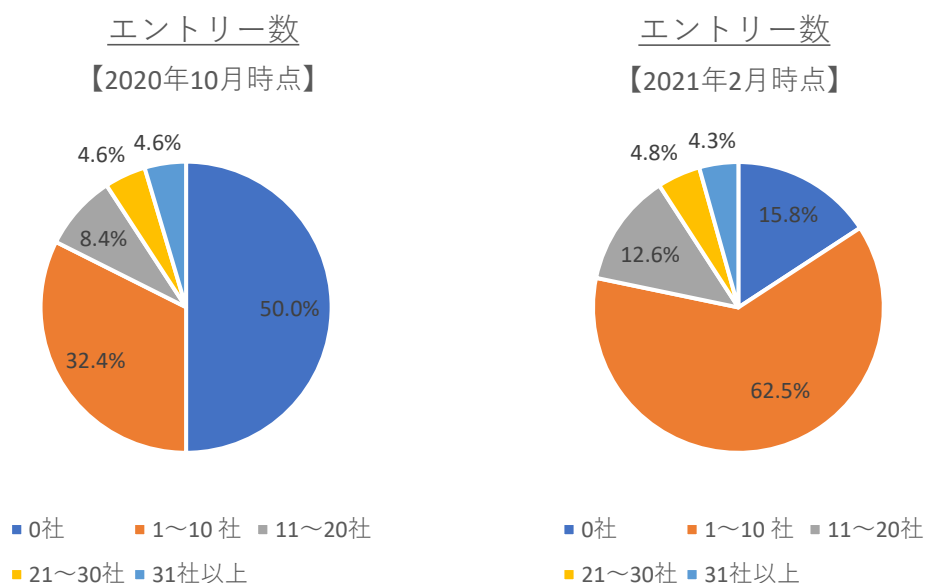


図 14

◆選考状況について

○エントリーについて

約4カ月前のデータと比べると、エントリー数は大きく伸びている。3月の情報解禁前にエントリーや選考を進めている学生が多く、早期化が伺える。また、エントリー理由についても【説明会などを聞いて興味を持てたから】という理由が2番目に多く、インターンシップや合同企業説明会に参加して新たに知ることのできた企業へ選考を進める学生が多いことが分かる。



(回答人数) 2020/10 : 370 人、2021/2 : 437 人

図 15

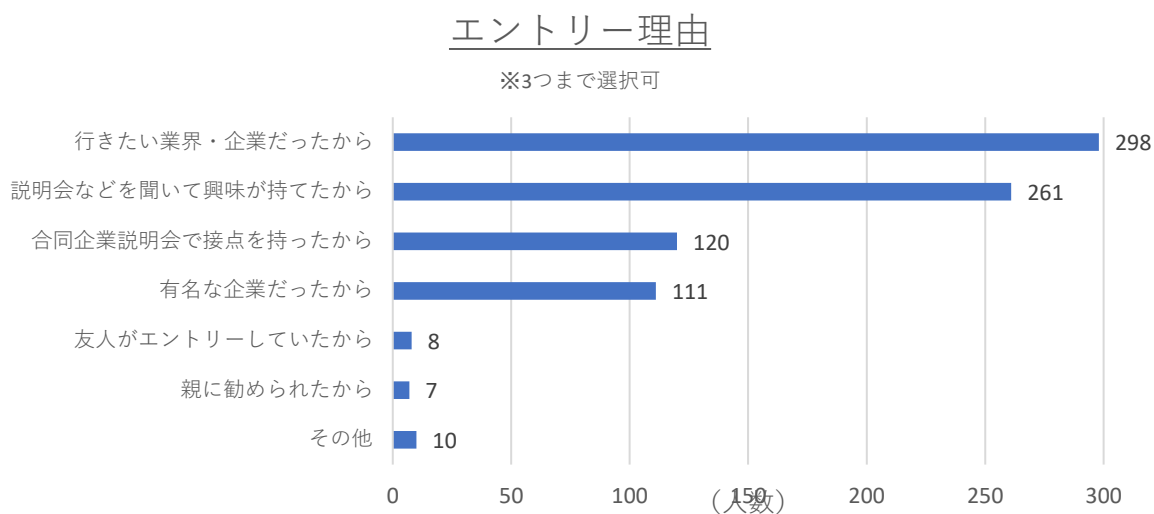


図 16

○選考について

2月までの段階の早期選考に関しては、オンラインでの実施が多い。3月の解禁後、対面で面接をする企業が今後どのくらい増えていくのか、動向を見ていきたい。

またオンラインでの選考が進む中で、面接官と学生の間で生じるコミュニケーション不足が懸念点になっていることが図 18 から読み取れる。本来の能力を発揮する上で、『オンライン』を意識した選考対策が必須と言える。

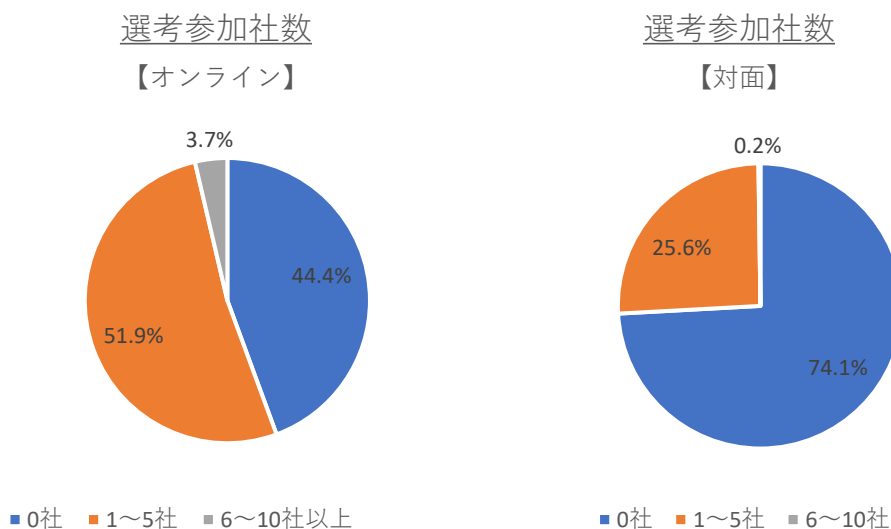


図 17

オンライン選考で困ったこと

※複数回答可

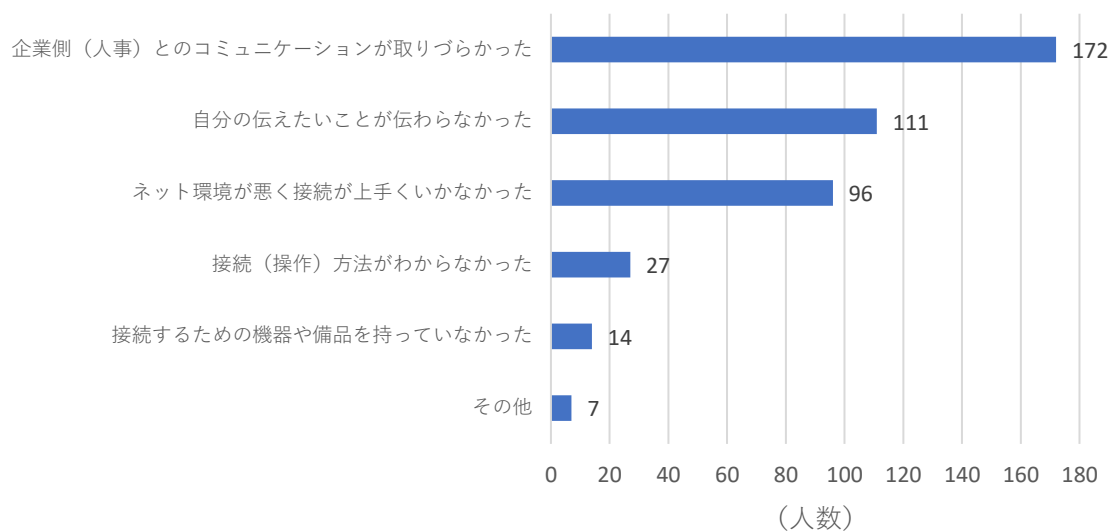


図 18

◆就職活動の決め手について

○内定について

2月時点で内定を保有している学生は全体の9.6%を占める。また、図20からも分かる通り1月に内定を獲得した数が多く、今後はより増加傾向になることが見込まれる。

内定を保有しているか

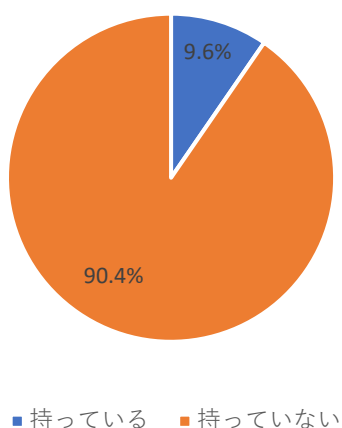


図 19

1社目の内定をもらった時期

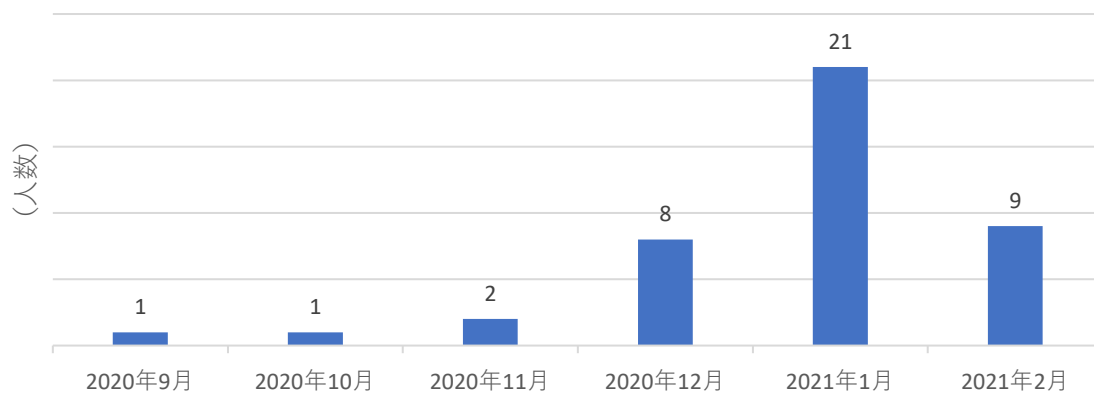


図 20

○就活終了時期について

また就職活動を終わようと考えている時期については、【納得できる企業から内定が出たら終わる（6月以前）】が圧倒的に多く、学生が早々に就職活動を終わる可能性が高いことが分かる。

就職活動終了の予定時期

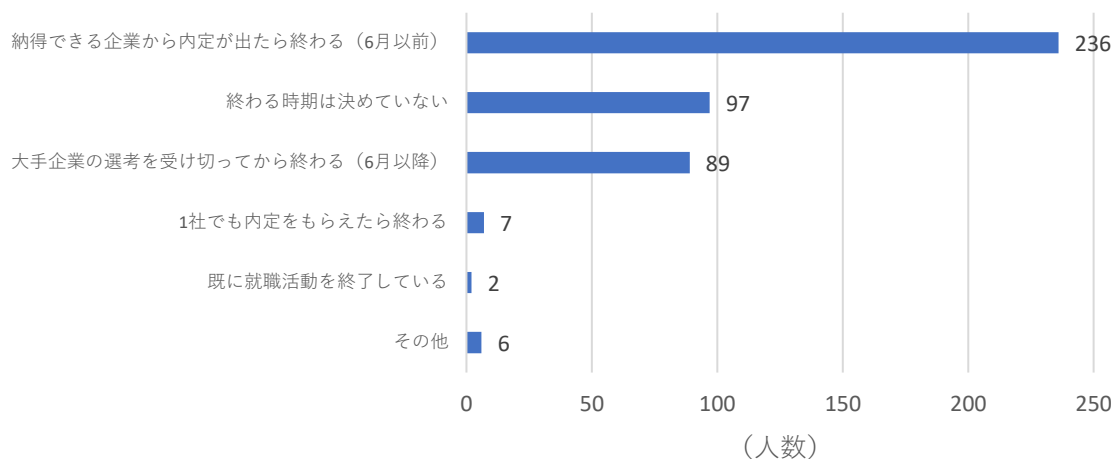


図 21

○志望業界について

就職活動を始めて数カ月経過した学生たちは、ある程度志望する業界を絞り始める時期に入ってきている。その中で、上位5位は変わらない順位となっている。減少傾向にあるのは旅行やホテル、外食などがあげられ、これも新型コロナウイルスの影響を大きく受けていることが分かる。

志望業界

※3つまで選択可

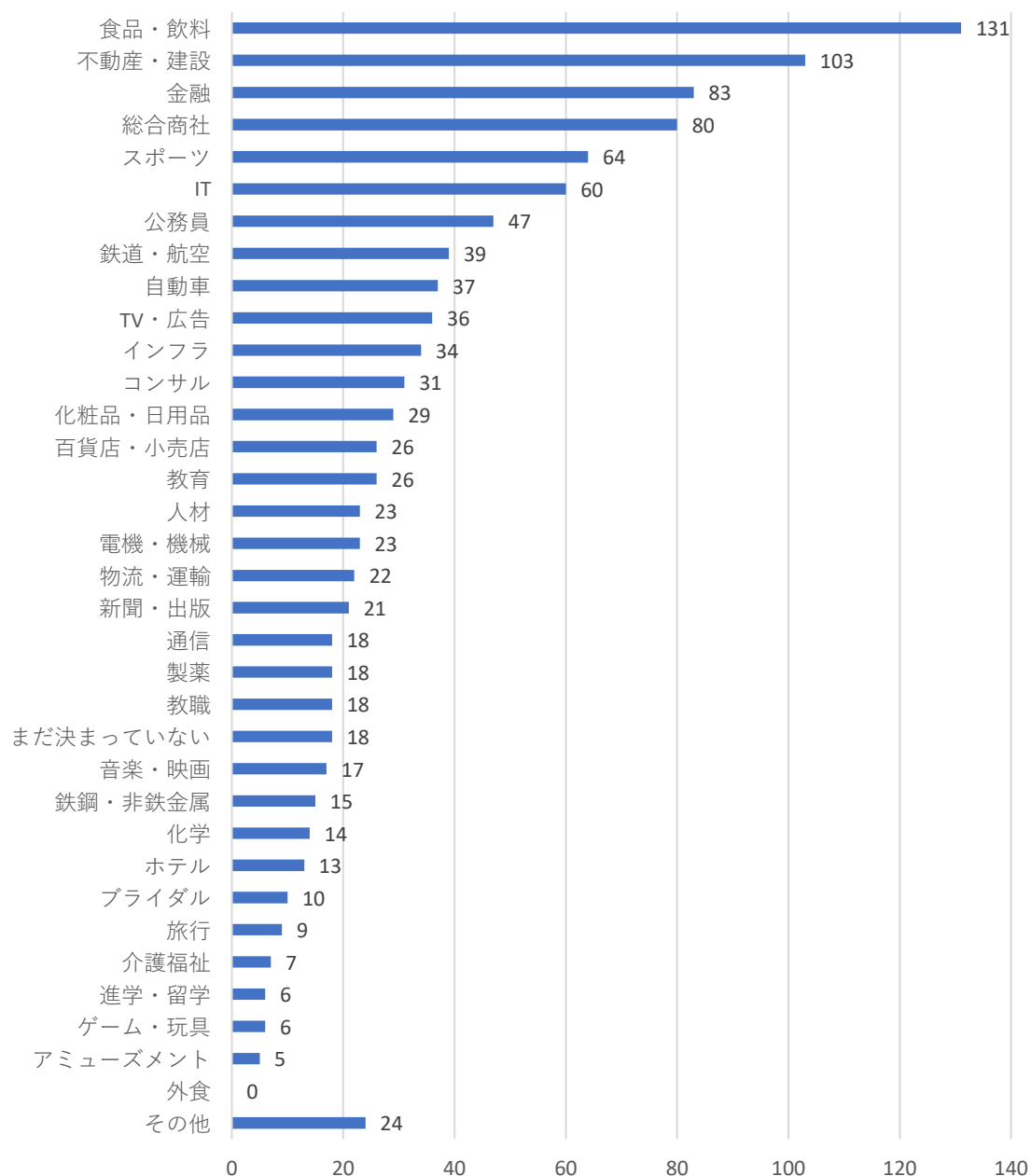


図 22

○志望職種について

志望する職種に関しては、大きな変化はなく【営業職】と【事務系総合職】が多くを占める結果となった。また、その他の回答には「パイロット」や「指導者」などがあつた。

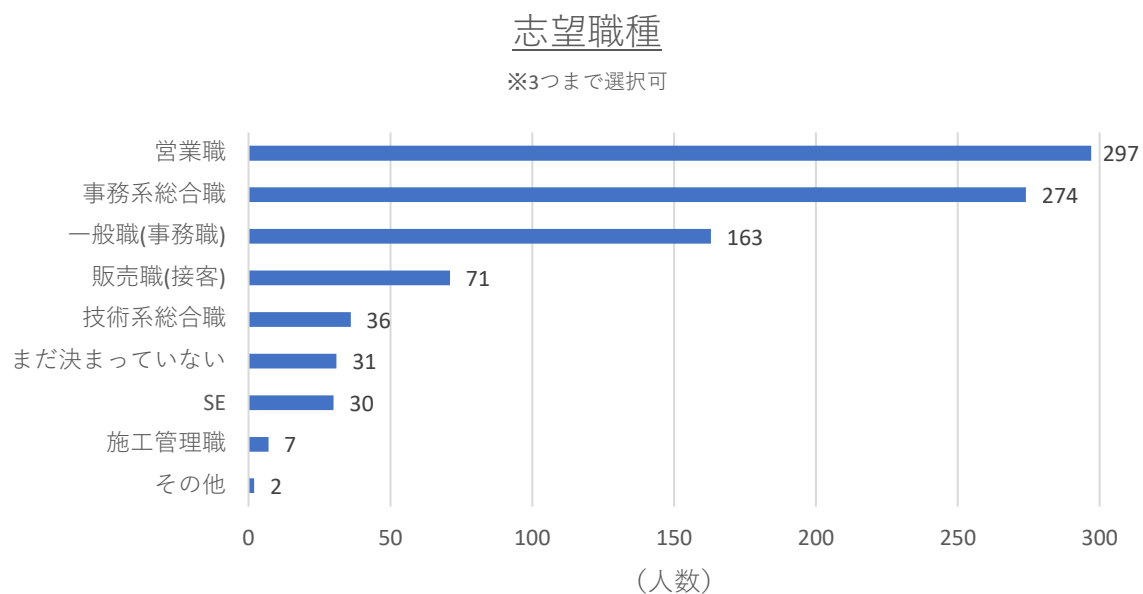


図 23

○企業選びの軸について

企業選びの軸について2年前の同時期（2019年2月）と比較した。（図24）

減少傾向にあったのは以下の2つ。

- ・知名度が高い/大手企業である【社会的評価】（1.9ポイント減）
- ・土日休みである/休みが多い/残業が少ない【余暇】（1.8ポイント減）

かつては大手企業への就職を目標とする学生が多かったが、現在の学生は企業選びの軸において、【社会的評価】を以前ほど重要視しなくなってきていることがわかる。

一方で増加傾向にあったのは以下の2つ。

- ・社会貢献度が高い/世の中の役に立つ【社会貢献】（3.1ポイント増）
- ・周囲の人から感謝される/(直接的に)誰かの役に立つ【愛他性】（1.9ポイント増）

新型コロナウイルスの影響で世の中が苦境に立たされる中、学生自身も何か役に立ちたいと考える機会が増えたからではないだろうか。

企業選びの軸

※3つまで選択可

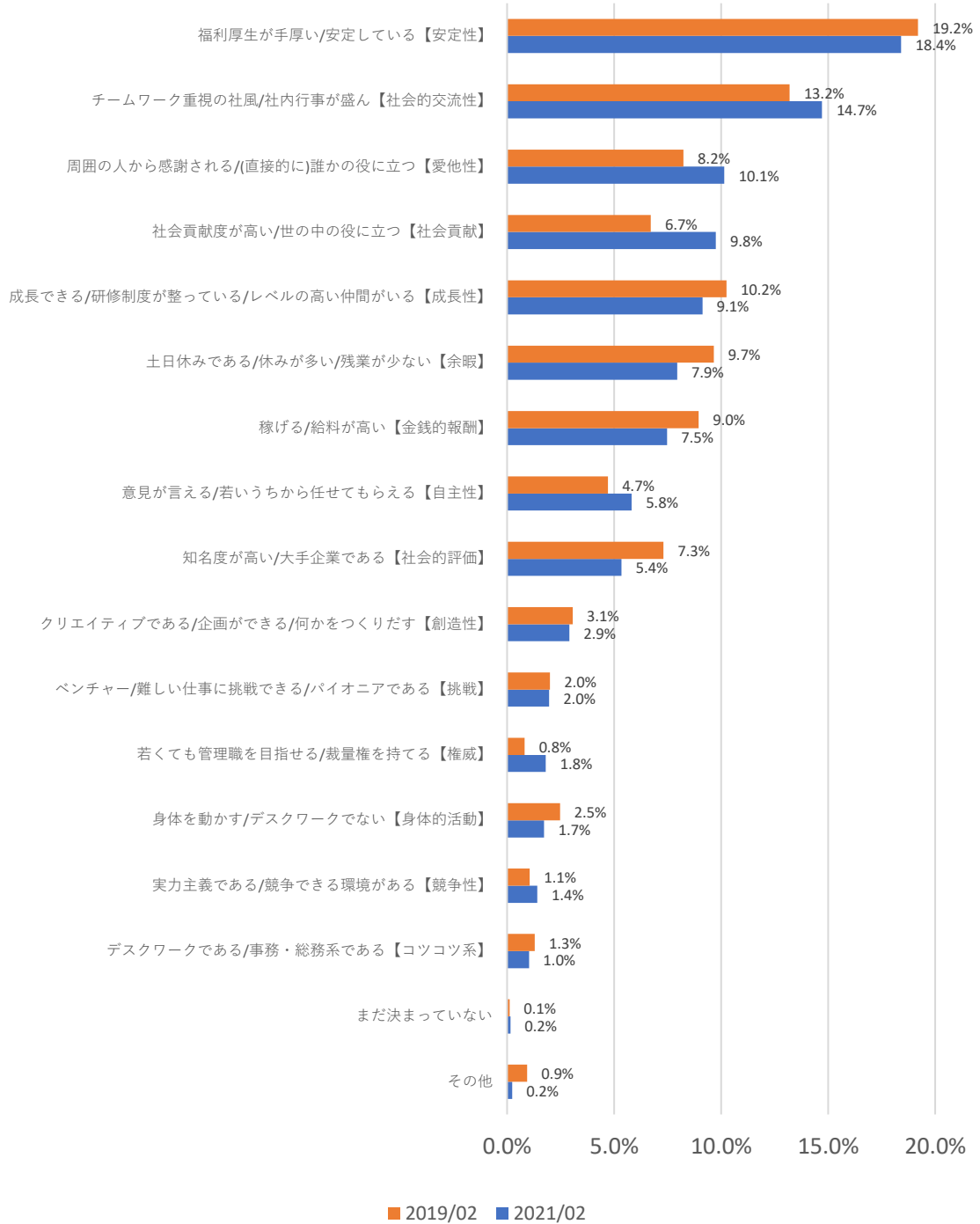


図 24